

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



自治体の概要



東日本大震災

- 2011年3月11日14時46分発生
- 震度6強 (M9.0)
- 死者3,277人、行方不明419人

人口の流出
↓
人口減少
少子高齢化 } 加速化

今後のビジョン・計画

今後の取組課題

- 震災に起因した**地域コミュニティの崩壊**
- 復興公営住宅における**高齢者の孤立化**
- 公共交通の**利便性不足**
- 未来技術導入の遅れ

- ハイブリッドリユース事業の展開
- 地域交通情報アプリケーションの構築
- コミュニケーションロボットの活用

「おたがいさま」の声があふれる支え合いのまちづくり

- 地域経済の活性化
- 環境にやさしい新たな移動手段の構築
- 高齢者の外出機会の創出・孤立防止

コミュニティを核とした持続可能な地域社会となり、「地域の中に相手を思いやる『おたがいさま』の声があふれる支え合いのまちづくり」が実現

SDGsに関する特徴的な取組



①ハイブリッドリユース事業の展開

●ハイブリッド自動車の基幹ユニットをリユースする事業を展開し、地域の新産業として定着化

グリーンスローモビリティを活用した協働による新たな移動手段の構築事業

「おたがいさま」の声があふれる支え合いのまちづくり



太陽光電池搭載の非接触給電ステーション、グリーンスローモビリティのイメージ



ロボットによる高齢者支援のイメージ

③コミュニケーションロボットの活用

●AIロボット活用により高齢者のIoT/ICTサービス利用を支援

④グリーンスローモビリティの活用

●ハイブリッドリユース事業で生産された電気自動車による100%自然エネルギーのグリーンスローモビリティの活用

環境にやさしい新たな移動手段



学生によるロボット製作のイメージ



高齢者の外出機会の創出・孤立防止